



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝

事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021



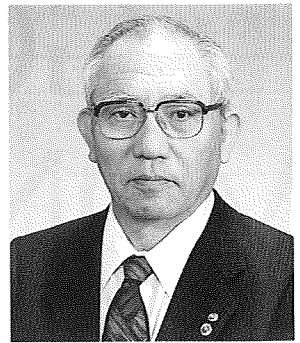
1998.6.20 No.13
[1年を終えて]

写真提供：
三重県二見シーパラダイス

ロータリーは人材産業

1997～'98年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝



ロータリー年度最後の月を迎えました。

「光陰矢の如し」と言います。去年の今頃、ガバナーという未知の世界の入り口で震えていたのが、つい昨日のこのように思い出されます。

私のような者が何とかつとめを果たすことができましたのは、ひとえにPGの皆様はじめ先輩ロータリアンのご指導のおかげです。また8人の分区代理や、地区スタッフの皆様、それに76RCの会長・幹事の皆様のお力ぞえのたまものです。

重ねて心から御礼申し上げます。

さて去る6月5日には、津島RC創立45周年記念例会にお招きにあずかり、山田克己市長とご同席の栄に浴しました。昭和28年創立ということは当地区で6番目の長い歴史を持つRCです。私事ですが、私が入社したのが昭和27年で、翌年は車掌や運転士の見習いでしばしば津島線の列車を担当しました。当時の津島駅や沿線の状況が思い出され、お祝辞もついセンチメンタルになりました。

そして今、津島RCは和気あいあいの雰囲気なのか、内外で積極的な奉仕活動を展開する文字通り「元気印」のクラブとして期待されています。

6月13日から18日まで、インディアナポリスでの国際大会に参加した後、6月20日には尾張中央RCでRIキンロス会長からの「意義ある業績賞」伝達式に出席しました。

この賞は本年度2760地区唯一のものを尾張中央RCが受賞され、その推薦理由は昨年10月4日に実施された「麻薬防止について」の野島精二氏（北津島病院長）による講演会です。地域住民を対象としたこの講演会はRC会員の献身的なご尽力により、約400名の参加を得、麻薬対策と青少年非行防止の必要性を強く訴えたものです。

「意義ある業績賞」は地域のニーズによくマッチしていること、その効果が大きく他のRCの模範となることなど、いろいろな条件がありますが、この度尾張中央RCが見事「金的」を射止められたことを、心からお祝い申し上げます。

なお本年度は既報のとおり、2760地区の76RCの

うち66RCが「四大奉仕」についてのRI会長賞を受賞され、まことにご同慶の至りです。

昔から「事業は人にあり」と言われています。

この1年ガバナーを担務して、一番痛切に感じましたのは、ロータリーもある意味で「人材産業」であるということです。

大競争時代に入ろうとしている今、どの業界でも問われているのは人材の力—とくに管理職の能力です。これは企業だけでなく、ロータリーのような組織団体でも同じだと思います。

さいわい私ども2760地区は、約6,500人に達する豊富な人材集団であり、ロータリーの知識と経験はもとより、各地域でのあらゆる職業分野を網羅した能力と、すばらしい個性をお持ちの方で満ち溢れています。

おかげ様で分区代理や地区スタッフ各位は、大変有能な方ばかりがお揃いになり、積極的な提案や機敏な行動力を発揮され、地区全体の運営に決定的な役割を果たしていただきました。

人材とは何でしょうか。それは頭の良い悪いではないと思います。アイソのいい悪いでもありません。企業や組織の将来を担う人材とは、職務に対する情熱と気力を持ち続け、話し合いと納得のなかでリーダーシップを発揮できる人のことです。

危機感はあるても、自分は安全な処にいて他人にハッパをかけるだけではダメです。危機感は一行動で示し、辛いこといやなことは自分が率先して実行するのが、人材の条件だと思います。

今求められているのは、「眠れる」ロータリーではなく、「戦う」ロータリーをリードする主役と、そのアシスタントたちです。人間の本当の値打ちは、地位や肩書きではありません。地位や肩書きにふさわしい仕事をしているか、どうかです。

新幹部の皆様には、心に秘めた目標に真剣に取り組まれ、ロータリー精神実現のため体を張ってご尽力されますことを、心からご期待申し上げて饞けのご挨拶といたします。

1998～'99年度のための地区協議会開催報告

豊田西RC会長 稲熊 昭彦



日 時 平成10年5月23日
会 場 豊田市民文化会館
豊田産業文化センター
ホストクラブ 豊田西ロータリークラブ

1998～'99年度のための国際ロータリー第2760地区協議会が豊田市市街地を眼下に見る緑に囲まれた豊田市民文化会館で開かれました。ホストを務めさせて頂き、無事終了し、犬飼栄輝ガバナー、内藤明人ガバナーノミニー、片山地区幹事、岩間次期地区幹事、並びに関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

昨年5月24日、犬飼栄輝ガバナーノミニーより次期ホストの指名をお受けしてから一年間、豊田西RC会員104名、責任の重大さを実感しつつ、案内書の発送、登録と多忙を極める日々を送ってまいりました。

当日は、犬飼ガバナー、内藤ガバナーノミニーを始め、特別出席者、地区委員の方々、各クラブ出席義務者及び一般参加者を含め、総勢1680名参加のもとで開催することが出来ました。

午前10時30分、特別出席者、出席クラブ紹介、君が代斉唱、成瀬竜二実行委員長の開会のことばの後、内藤ガバナーノミニーにより新しい企画である20秒間の黙想、点鐘、ホストクラブ会長の歓迎の挨拶、犬飼ガバナー挨拶と続き、内藤ガバナーノミニーより次年度国際ロータリー、ジェームス L・レイシーRI会長のテーマ

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

「ロータリーの夢を、追いつけよう」

の紹介がありました。国際ロータリー第2760地区の次年度の目標、

1. ユーイズムを広めよう

2. 新世代に 大いなる光を照らそう
3. 奉仕の実感を 共有しよう
4. ガバナー賞に チャレンジしよう

について、ガバナー方針の説明がありました。

午後からは、2会場 9分科会に分かれ、テーマを達成するために、各分科会で活発な質疑応答がかわされ、非常に充実し意義ある分科会となりました。

引き続き本会議場で犬飼ガバナーの講評後、ガバナー引継ぎ、記念バッジ贈呈、地区幹事引継ぎ、ガバナーズクラブガバナー引継ぎと続き、内藤ガバナーノミニーの挨拶、次期地区協議会のホストクラブとして、名古屋中ロータリークラブが発表され、午後4時頃、すべての行事を終えて無事閉会となりました。

計画にはなかったことですが、帰路につかれる皆様に、誰言うことなく並び立札でお送りしているメンバーの姿を見ながら、当クラブにとりまして、誠に意義ある地区協議会であったと感じました。

豊田で地区協議会が開催されたことは、今回がはじめてのこと。当然各々全員がはじめての準備でした。

関係者各位又、ご参加頂きました会員の皆様方に多大なご迷惑をおかけしたと存じますが、どうぞお許しください。

当クラブ、会員全員が手を結んだ素晴らしい「思い出」をいただき心より感謝いたします。



地区年次大会報告

ローターアクト地区代表

江村 公一 (名古屋熱田RAC)

去る4月25日(土)～26日(日) 名古屋熱田RACホストのもと、名鉄グランドホテルに於て『第8回ローターアクト地区年次大会』を開催いたしました。1年間のローターアクト活動の集大成ともいえるこの行事を、犬飼ガバナーをはじめ多数のロータリアンのご列席を賜りまして盛大に挙行できたことを地区内ローターアクターを代表して厚く御礼申し上げます。

それでは、大会内容を以下ご報告させていただきます。

〈前夜祭〉 4月25日(土) 19:10～21:00 テーマ『Sturday Night Fever!』

開場前の最終リハーサル、音響チェック等に手間取り、定刻より10分遅れでスタート。場内暗転後、映画『サタディナイトフィーバー』のジョン＝トラボルタに扮した私が2人の美女を従えて颯爽と(?)登場、ホストクラブである名古屋熱田RACのメンバーと共にオープニングアトラクションを披露させていただきました。(余談ですが、ローターアクターの中でも若い人達はこの映画を知らないそうです。少し世代の違いを感じました。)

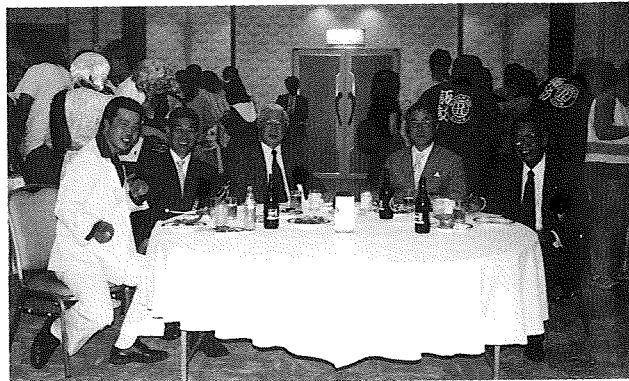
地区副幹事の宮崎薫様に乾杯の音頭をとっていただき、会食となりました。今回は前夜祭テーマに即したパフォーマンス(3～5分間)を各クラブに用意してきてもらい、それを順番にステージ上で披露してもらう形式をとり、優れたパフォーマンスの上位3クラブには景品を用意いたしました。厳正なる審査の結果、入賞を果たしたクラブは下記のとおり。

1位: 豊橋RAC 曲目『セーラー服を脱がさないで』他

控室で出番を待つ
オープニング
アトラクションメンバー



前夜祭会場



アトラクション審査員

向かって右より: 蜂谷バストガバナー、名古屋南RC大島会長、地区RA委員会 青木副委員長、宮崎副幹事、地区代表

2位: 2600地区合同チーム 曲目『スノーレッツダンス～踊ろよ輪になって踊ろ～』

3位: 小牧RAC 曲目『ロコモーション』

表彰セレモニーの後、地区ローターアクト委員長石川敬様より総評をいただき閉会となりました。

(参加者数約250名)

(この後名古屋駅前の居酒屋『やぎや』にて行われた2次会は大変な盛り上がりを見せていた様です。)

〈本大会〉 4月26日(日) 10:00～14:30 テーマ『ずっと～でいこう』

今期私共ローターアクトは地区ターゲットとして『STEP BY STEP』を掲げ、アクター個々の資質を高めていくべく活動してまいりました。そして一応の成果を挙げることができたのではないかと考えております。そしてこれをできる限り継続していこう、ずっとSTEP UPしていこうというメッセージを込めて、本大会テーマを『ずっと～でいこう』といたしました。『～』の中にお好きな言葉を入れて下されば、今後の皆様方それぞれのテーマになるのではないのでしょうか。大会ロゴマークも一歩一歩確実に登り続けていこうという思いを込めて作成いたしました。

さて第2日目の本大会ですが、多数のご来賓、特別出席者、そして二日酔いの(?)ローターアクターご来場のなか開催いたしました。

名古屋市教育委員会教育長の光森進助様よりご



ユネスコ協会に目録を手渡す

祝辞を頂戴したあと、犬飼ガバナーより「皆さんの新しい感覚での活躍に期待している」とのごあいさつを賜りました。また地区青少年活動委員長の加藤正男様からは「皆さんの役割は50年後の日本をいかにするかである」とのエールをいただきました。

その後、野球解説者の近藤貞雄様をお招きして『プロフェッショナルの条件』と題した記念講演をいただきました。「プロとして大成する条件は自分の好きなことを徹底的にやれるかどうかにある。悪い時でも必死になってやるのがプロであり、アマチュアとの違いは闘争心の違いにある」など、何事も前向きに取り組んでいくことの大切さを強調されました。

午後は地区事業報告に引き続き、大会決議（下記参照）を行いました。

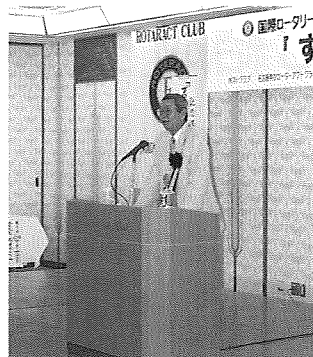
第1号議案：地区事業として『ユネスコ・世界寺子屋運動』に参加する件

→1年間集めてきた使用済みプリペイドカードの収益金、また当日参加者より募った協力金をユネスコに寄付する旨、日本ユネスコ協会連盟理事の田川清氏に目録を手渡した。また、田川氏より地区ローターアクトに感謝状が贈られた。

第2号議案：直前地区代表神谷徳昭君（東海RAC）に感謝する件

→直前代表に感謝の意を表し、記念品が贈られた。

第3号議案：1998～99年度地区代表を石田雄三君（岡崎RAC）に、地区ホストを岡崎RACにお願いする件



記念講演



『アクトの木』伝承式

→決議の後、ローターアクトのシンボルである『アクトの木』の伝承式を行った。

また、地区表彰は下記のとおり。

7年表彰：匹田康裕君（豊橋RAC）他8名

10年表彰：石田祥規君、小池良明君（以上名古屋港RAC）、大池弘香さん（江南RAC）

モストフェローシップ賞：成田美香さん（東海RAC）

地区代表特別賞：原田健太郎君（岡崎RAC）

今期最優秀クラブ賞：一宮ローターアクトクラブ

最後に地区ローターアクト委員長の石川敬様より「皆さんは常に前進してほしい。『STEP BY STEP』の精神は次世代にも引き継がれてゆくとと思う」と総括していただき大会を終了いたしました。

今回のホストをつとめた名古屋熱田RACは、若い（経験の浅い）メンバーが多く、年次大会の準備、そして当日の段取りなども決してスムーズにはいきませんでした。しかし、石川委員長が普段から言われている『失敗を恐れず行動せよ』の言葉に押されて何とか終わらせることができました。

多大なご尽力、ご支援を賜りました関係各位の皆様重ねて厚く御礼申し上げます。今後ともローターアクト活動に対するご理解、ご指導よろしくお願いいたします。



ホストをつとめた名古屋熱田RACメンバー

美和高等学校IAC結成

あまRC会長 熊沢 登

あまロータリークラブの提唱によりまして、県立美和高等学校に地区内14番目のインターアクトクラブが新しく創立されました。その認証状伝達式が去る5月24日、名鉄グランドホテルにて行われました。

津島市宇佐美教育長様、他テリトリー内各自治体の教育長様をお迎えし、学校側から則竹学校長他3名の先生方、荒川IAC会長他14名のインターアクター、その他竹田PTA会長をお迎えして簡素にして厳粛な雰囲気の中、認証状が犬飼ガバナーから荒川IAC会長に伝達されました。

又、ロータリー関係から、犬飼ガバナー、高沢地区青少年活動委員会カウンセラー、神戸PDG、坂本地区IA(小)委員長、加藤西尾張分区代理、加藤青少年活動委員長始め分区の各クラブ会長・幹事の方々にお忙しいなか出席して戴き、式典に華を添えて戴きました。

県内13クラブのインターアクターに我がクラブ員を含め総勢194名を迎えてのチャーターナイトでした。

IAC設立につきましては、直前光岡年度からIA特別委員会を創り、準備が進められました。実際に、光岡直前会長、黒野直前幹事を始め鈴木(正)前IA特別委員長他委員の方々が幾度も学校を訪問し、顧問の先生方と検討を重ね、着々と準備を進めました。然し、学校の自治と日程との調整がなかなか出来ず、チャーターナイト日程などは決定する迄には至らず、ついに今年度のスタッフに引



継がれました。渡辺幹事、竹田IA特別委員長を中心に粘り強い説得と交渉によりまして、様々な難局を乗り越え、ついに則竹学校長の英断によりチャーターナイトの日程を了承して戴く事が出来ました。途中でわかった事でしたが、何故この様に設立迄に長い時間がかかったかには、大きな理由がありました。それは過去に、あるロータリークラブと学校側との間にIAC運営についての意志の疎通が充分ではなかった為に「提唱ロータリークラブによって学校側の自治が妨げられた」と言う情報が学校側に入っていた為、必要以上に学校側が慎重になっていた事でした。これに対しても十分に時間をかけ、ロータリークラブの立場を説明し了解して戴く事が出来、急転直下にチャーターナイトの日時決定迄進みました。今後この点を十分に留意して、IACに対する奉仕活動、並びに指導を行って戴きたいと思ひます。

さて、認証状伝達式当日には、ご来賓、犬飼ガバナー、高沢地区青少年活動委員会カウンセラー、並びに坂本地区IA(小)委員長から親しく祝辞及び激励の言葉を戴きました事、改めて紙上をお借りしまして心からお礼を申し上げます。

最後に、則竹学校長が「こんなすばらしい式典を開いて戴き、IACを創ってほんとうに良かった」と我々関係者一同に鄭重なるお礼の言葉を戴き、ロータリー奉仕活動の喜びの一端を体感し、連日の疲れも吹き飛ばす思いでした。改めてご指導、ご協力を戴きました関係各位、特に坂本地区(小)委員長には心から感謝申し上げます。



国際ロータリー第2760地区 あまロータリークラブ提唱
和高等学校インターアクトクラブ結成認証状伝達式



40周年記念例会報告

西尾RC会長 岡田 四郎

西尾RCは昭和33年5月6日に蒲郡RCをスポンサーとして創立され、今期で40周年を迎えました。そこで創立40周年記念例会を5月10日に西尾市文化会館大ホールにて犬飼栄輝ガバナーをはじめ多数のご来賓をお迎えして執り行いました。

第一部の記念式典では、物故会員を偲び黙祷を捧げた後、ほたる飼育器、地球子供会議への寄付、けやき植樹、バングラデシュ学校教室建築など今期の第2760地区方針のひとつ「新世代の育成と環境保全」に沿った40周年記念事業の披露が行われ、引続きガバナー、スポンサークラブ会長、西尾市長よりご祝辞をいただきました。第二部では歴代会長（故人）のご夫人方に「ロータリーの思い出」を語ってもらいました。蔭の功労者ともいえるご夫人方又ご家族のロータリーに対する深いご理解、ご支援を改めて知ることが出来ました。第三部では春風亭小朝ショーを企画しました。知的障害を持つ小・中学生、身体障害者、ボランティア団体など600余名をお招きして、大いに笑ってもらいました。6月9日に巡ってきます2000回

目の例会を開催する際に物故会員を振り返る追弔会を計画しています。このように物の奉仕から心の奉仕をモットーに40周年事業を進めてまいりました。今後も先達の功績や会員家族の深いご理解、ご支援に対する感謝の気持ちを忘れることなく、ロータリークラブが目指す「ロータリーの心」「愛と奉仕の心」を行動で示していきたいと願っています。



米山記念奨学会

2760地区

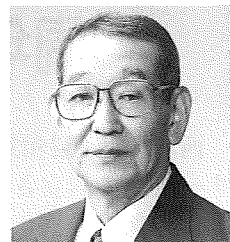
特別寄付報告書（1998年4月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末永 直行

クラブ名	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合計	件数
安 城	0	120,000	0	120,000	1件
名 古 屋 東	0	30,000	0	30,000	1件
名 古 屋 名 北	0	30,000	0	30,000	1件
名 古 屋 瑞 穂	0	30,000	0	30,000	1件
名 古 屋 西	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 東 南	0	300,000	0	300,000	1件
名 古 屋 和 合	0	300,000	0	300,000	1件
岡 崎	0	90,000	0	90,000	8件
岡 崎 東	311,306	0	0	311,306	2件
岡 崎 城 南	0	50,000	0	50,000	1件
岡 崎 南	0	40,000	0	40,000	2件
田原パシフィック	0	548,000	0	548,000	66件
豊橋ゴールドン	0	30,000	0	30,000	1件
豊 橋 北	0	60,000	0	60,000	2件
豊 橋 南	0	10,000	0	10,000	1件
豊 田 東	0	890,000	0	890,000	25件
豊 田 三 好	400,000	0	0	400,000	1件
豊 田 西	0	600,000	0	600,000	16件
合 計	711,306	3,428,000	0	4,139,306	132件

米山梅吉記念館新館の 落成記念式典に出席して

パストガバナー 蜂谷 弘道



去る4月28日(火)静岡県駿東郡長泉町……私は新幹線三島駅で下車してタクシーで北へ10分程走りました。そこに現れた立派な洒落た近代的建築物が今回の目的地、米山梅吉記念館新館でした。

13時からの新館落成記念式典には、全国の米山梅吉先生ファンが集まり懐かしい顔触れが揃いました。この顔触れと立派な建物を拝見して、改めて全国のロータリアンのご奉仕とご芳情に驚きました。

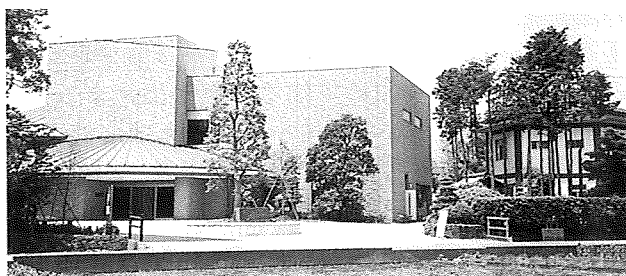
私は過去ここに2度訪問したことがありますが、その時のイメージとは一変され「都会」という風がついにここにも吹いてきたかなあと感じました。

その立派な新館の隣には、しっとりとした、米山先生を彷彿させる旧館があります。その建物の奥には木で囲まれた墓地があり、入り口のすぐ傍に米山先生のお墓があります。そのお墓は、昔から変わらず苔むして米山先生の清楚なお人柄が伺え

ました。

私は門前に立って東の緑繁った箱根の山々を眺めて、「ああ、米山梅吉少年はあの山々を越えて遠く東京に出たんだなあ。」と想像して、懐古の情に打たれました。

今回の落成式に出席して、この財団法人米山梅吉記念館の理事長である坂本豊美氏が長年に渡り苦心した結果、この日を迎えることができましたこと心より嬉しく思いました。



左：新館

右：旧館

挨拶

財団法人米山梅吉記念館新館の落成にあたり、新館建設に御協力を賜りました全国のロータリアン、並びに関係諸団体に対し、心より御礼申し上げます。

米山翁の遺徳を偲び、先輩ロータリアンの偉業を讃え、その志を次代に伝え、ロータリー精神の普及と活動に寄与するに相応しい記念館として維持発展させていきたいと願っています。今後とも尚一層のご指導とご支援を切にお願いいたします。

平成10年4月28日

財団法人 米山梅吉記念館
理事長 坂本 豊美

新館建設経過報告

昭和62年7月1日 新館建設準備構想が発生し新規銀行口座設定
平成4年8月 定例理事会に於いて新館建設問題討議
12月4日 静岡第1～3分区会長会議を開催し米山梅吉記念館運営推進並びに新館建設の決議をする。
5年8月 定例理事会にて新館建設決議(新理事長 坂本豊美)
6年1月 定例理事会にて開館25周年記念事業の一環として新館建設を決議する。
7年2月 定例理事会にて新館建設規模、資金、展示等につき打合せ
3月11日 RI2620ガバナー内藤成雄、(財)米山梅吉記念館理事長坂本豊美により全国ガバナー会宛第1回陳情書提出
6月26日 RI2620ガバナー内藤成雄、ガバナーエレクト高橋亮昭、パストガバナー坂本豊美により記念館拡大運営につきガバナー会議長丸山宏宛請願追加

8月20日 (財)米山梅吉記念館新理事役員一同より各地区ガバナー宛現状並びに新館建設の急務を訴える。
8年3月7日 理事長坂本豊美、常務理事幾田裕男よりガバナー会に於いて再度協賛依頼し記念館自主募金の範囲にて協力受諾
7月1日 全国ガバナー各位向建設趣意書発送
目標、ロータリアン1人3,000円
D2620はロータリアン1人6,000円
募金目標 4億5千万円 建物 3億円
展示外構 1億5千万円
12月31日 本年中建設関係委員会 12回開催
9年6月14日 展示施工業者を株式会社乃村工芸社に決定(施工費 5千万円以内)
6月23日 現地説明を建設入札応募者に対し行う
7月10日 同上につき入札 株式会社石井組落札(本体価格228百万円)
7月16日 地鎮祭
12月18日 上棟式
10年3月12日 備品入札
3月26日 建物引渡(本体)
4月3日 建物引渡(外構)
4月28日 落成式

記念館概要

総工費	3億6千2百万円	会議室	55m ²
会館総面積	1,026m ²	展示室	210m ²
一階	650m ²	ホール	195m ²
二階	376m ²	ロビー	190m ²

ブラジル9日間の旅

地区研究グループ交換(小)委員会

委員長 松前 憲典

RI第4430地区平和の地区大会に犬飼ガバナー一行参加
サンパウロは、ブラジル南東部、海岸線より80Kmの標高800mの高原地帯に位置する。1554年にカトリック修道士によって開かれ、現在では人口963万人を越える南米第一の大都市です。

5月12日から20日まで、犬飼ガバナー一行のロータリアンと家族11名は、第4430地区の森ガバナーのお招きにより、ポソス・デ・カルタスで開催された地区大会に、現地で研修中のGSE派遣チーム5名と合流して、地区大会に参加し、大歓迎を受けました。



RI第2760地区派遣GSEチーム元気で研修

第4430地区は、今年度GSEで研修生を交換した地区です。第2760地区のGSEメンバー5名は、5月2日に日本を出発し、元気に第4430地区の用意されたプログラムに沿って、研修に励んでおりました。

内藤幸子さんは、日本の歌、イタリア民謡(ソプラノ)を披露し大好評と、第4430地区のGSE委員長酒井さんが教えてくれました。横田悌三君はポルトガル語が得意で通訳として活躍。村田修君は、出稼ぎを助けるために、日本人がポルトガル語を憶えているというタイトルで、英字新聞に写真入りで大きく報道されておりました。高橋利治君は、建築関係の研修中で、ブラジルでは地震がないので、日本の建築様式より簡単にビルを建てていると述べておりました。

第4430地区の各例会に参加

この機会ということで、私たちは5月13日にリベルターデRCに集団メイクアップ致しました。翌14日には、ベルディーゼRCの例会に揃って出



席致しました。犬飼ガバナーと松前GSE委員長が歓迎御礼のあいさつ。私は用意したポルトガルの原稿で初めてあいさつ、よかったと言われホット致しました。

犬飼ガバナーは、RC例会に参加して次のように要約されております。

- 例会の運営はすべて会長が行ないます。
- 点鐘は会の始めと終わりだけでなく、会長発言の度に鳴らし、議事進行を行ないます。
- 時間は不正確というか、ブラジル時間？です。
- 全体的にワイワイ、ガヤガヤのフリーサイズ、無秩序のなかの秩序を感じました。要するに会員は、例会が楽しいから来ている訳です。
- 1クラブは40人前後。お互よく知り合い、地域社会の「きずな」のようなものを感じました。
- 私たちは、ほとんど全会員から声をかけられました。この素直さと接客マインドと、好奇心！以上大変勉強になりました。

※リベルターデRC/会員は50名程で、その内25名は西洋人の顔をしたブラジル人で、後の25名の内の半分が日系二世のブラジル人、他の半分が日本人という構成になっています。



日伯文化協会図書館に寄贈図書の贈呈式

5月13日午後2時半、犬飼ガバナー一行は日伯文化協会を訪れ、文協図書館で第2760地区からの図書300箱2トンを送り、贈呈式を行いました。山内淳文協会長は、「日本の文化、言葉を残していくためにも、本当にありがたいことです」と感

謝の言葉を述べられました。犬飼ガバナーより山内会長に目録を手渡されたあと、文協と九十年祭委員会より、それぞれの感謝状が山内会長からロータリーの代表に手渡されました。

第4430地区第7回平和の地区大会盛大に開催

ポッソス・デ・カルタスで5月14日より17日まで平和の地区大会が開催され、森ガバナーは、この大会はいろいろな交流や研修を通じ平和を認識する地区大会である、と述べ、遠い日本から渡伯された犬飼ガバナー一行に心から感謝を申し上げ、日伯の親善が深まることを祈るとあいさつされ、日本から参加の16名をそれぞれ紹介されました。日の丸を大きく掲げて歓迎に答えました。



第4430地区大会で犬飼ガバナー挨拶

第4430地区のロータリアンの皆さん、今日は。私どもは日本から来ました。日本の名古屋から第2760地区のロータリアンとその家族11名が、一緒に来ました。

この度は森ガバナーから、第4430地区大会にお招きをいただき、有難うございました。なお、ただいま私どもの第2760地区から、5名のGSE研修チームが第4430地区のロータリアンの皆様に大変お世話になっており、心から御礼申し上げます。本大会の日本からの参加者は、このGSEチーム5人を加え、計16名になります。

さて私は、ブラジルは日本にとって世界で一番遠い国だと思っていました。何故ならば、ブラジルと日本はちょうど地球の反対側にあり、1万8000キロ以上も離れているからです。しかし今、私たちが感じているのは、ブラジルは日本に一番近い隣の国であり、もっとも友好的な国である、ということです。

日本の笠戸丸が1908年6月サントス港に着いて

から、今年はちょうど90年を迎えます。私どもはこの記念すべき年にサンパウロに来ました。サンパウロのすばらしい発展に、目をみはりました。そして私どもが深く感動したのは、ブラジル国民の明るくてダイナミックな生活と、思いやりのある素直で親切な心です。

私どもは、今後も日本とブラジルの親善と交流が進むよう、更に努力する決意です。第4430地区各ロータリークラブの一層のご発展を祈り、本日まで参加の皆さんのご健康とご幸福をお祈りして、ご挨拶とします。



ブラジルの三大名物

ブラジルを語るとき欠かせないのが、コーヒー、カーニバル、サッカーの三要素で、この内どれが欠けてもブラジルが色褪せて見えます。コーヒーは、全生産量の43%をブラジルが生産し、カーニバルは、世界最大級のキリスト教に関するお祭りで、サッカーは、ワールドカップに4回優勝し、かつ毎回出場しています。リオ・デ・ジャネイロにマラナカンという20万人収容のスタジアムがあります。是非ブラジルを応援して下さいとガイドが言っておりました。

リオ・デ・ジャネイロ：サンパウロに次ぐ、ブラジル第2の都市で人口は550万人を越え、世界三大美港のひとつに数えられています。華やかな“リオのカーニバル”は世界的に有名です。コル

コバード丘の巨大なキリスト像は、ブラジル独立百周年を記念し1931年に完成しております。

イグアスの滝：イグアスの滝は、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイの3国が国境を接するパラナ河とイグアス河の合流点付近にある世界最大の滝。その雄大なスケールと迫力は30近い滝から成っていて、その距離総計4キロに及びます。

盗難にご注意を：旅の途上で、盗難にご注意をと何度も聞いた私でしたが、「油断大敵」。イグアスの滝の観光を終り、サンパウロを経由してリオデジャネイロに向かう飛行機で、機内の乗客が少なくなり、ファーストクラスに移りました。旅の疲れが、どっとでて、バンドをゆるめ、ぐっすりひと眠り。この油断大敵に、パスポートと若干のマネーとキイを紛失し、一行の皆様大変迷惑をかけました。翌日、リオの日本領事館で書綴を作製し、日本からFAXで戸籍抄本をとりよせ、警察でブラジル滞在中のサインを得て、無事帰国致しました。不徳のいたすところと反省を致しております。



激励ツアーに参加して

名古屋名駅RC 滝川 運男

5月12日夕刻名古屋を出発し、約24時間後の13日朝4時にブラジル、サンパウロに到着、RI第4430地区からの研究グループのメンバーとして来日していた、軍事警察大尉のアルダさんの指揮するパトカーの先導でホテルへ。小休止ののち、サンパウロ・リベルダーデRCの例会に出席しました。このクラブの例会は、サンパウロの中心にあり、日系をはじめ、中国、韓国系の商店やレストラン・ホテルなど400店舗が軒を連ねる、東洋人街、通りには赤い大鳥居や、すずらん燈が並び、日本のどこか地方都市の駅前商店街といった感じのするなかの、やはり日系人の経営する、ニッケイ・パラセホテルで行われた。会員数53名、うち半数が日系人で、日本語を話せる人が多い。会長の点鐘で定刻に始まり我々メンバーの紹介、バナーの交換等があった。会員は殆んどスポーツシャツでノーネクタイ、ノースーツ、ワイワイ、ガヤガヤと楽しく愉快に話をして、時間をすごすという感じで、出席率は80%ぐらいとのこと。

5月14日は、サンパウロ・ペルディーゼRCの例会に出席。このクラブはポルトガル系が主で、会員数27名。1966年に50名で設立されたが、チャーターメンバーは、私1人ですと、サレムさんは淋しく話していた。メイクアップに、南米安田保険の社長(一世)、専務(二世)が出席されていた。日本のように例会変更による、サインのみでメイクアップが出来るシステムはないとのことでした。



1997~'98年度 活動報告

西尾張分区

分区代理 加藤 千博

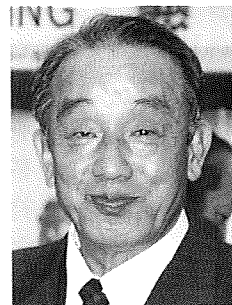


私の分区代理の仕事が始まったのは、年度末近い6月18日名鉄百貨店でグリーンジャケットを作る事からでした。年度に入り、ガバナー事務所に出かけ、犬飼ガバナーはじめ、片山幹事、その他副幹事の方々と初対面、一年間の事業と出席する予定の説明を受けました。何と回数の多い事か！ 地区リーダーシッププランの採用による分区代理の役割強化により、又地区委員会の活性化の為に1回以上開催される委員会への出席義務、その他諸行事等々。クラブ訪問は9クラブで、8月4日のあまRCから始まりました。30分の例会スピーチでは今年度より採用された「当地区リーダーシッププラン」の概要、採用の経過と、会員増強に関する4委員会は会長エレクトか副会長が直接統括する案について説明をし、クラブアッセンブリーは各クラブの事業計画と、それに伴う予算について説明を受けました。2週間後位に2~3クラブ同日異時開催にてガバナー公式訪問が行なわれました。各クラブ30分程でしたが厳粛で緊張感のある格調の高い公式訪問となりました。9月8日には分区内チャリティー親善ゴルフ大会を明世C.Cで開催、年が明けて3月7日には名鉄犬山ホテルにて「ロータリーの心を」をテーマにIMを開催、310名の参加を得ました。4月11~12日はブラジルサンパウロ第4430地区GSEメンバー5人を、一宮、一宮北、一宮中央、尾西の4RCで2日間お世話し、大変有意義な国際交流が出来ました。後半の第2回分区代理訪問も順調に終了。各クラブの会長幹事様を始め関係各位の皆様、一年間大変お世話になりありがとうございました。

犬飼ガバナーには何回となく励ましのお手紙を戴き、大過なく全うする事が出来ました事、感謝申し上げます。ありがとうございました。

東三河分区

分区代理 鈴木 省三



影武者の一年

豊田の地区協議会も終り、いよいよ私達の分区代理の仕事も終りに近づいて来ました。

思えば、事前訪問—地区大会—IM—事後訪問—GSEと本当に目の廻る一年でした。ゴールを目前にして、多勢の皆さんのお世話になった事を感謝いたします。

不景気で、ロータリーどころではない、会員増強の出来る状態ではない、と口では言い乍ら、例年通りの、いや例年以上の活動をして頂きました。ロータリーの懐の深さ、しぶとさを感じました。

マスコミの論調では、米国は満点、日本は0点ですが、米国には、公的年金もなく、医療保障もありません。小学生が学校へピストル携帯です。

私は現在でも、日本と米国は五分五分位だと考えます。日本は自信のない人多すぎます。21世紀は、日本の世紀のハズではなかったですか、たしかに質の良い政治家に恵まれませんし、教育の質の低下も目を覆うものがあります。

イギリスの在郷軍人が陛下に背を向け、戦時中の保障を求める姿を見て、エリツィン訪日時に何も要求しなかったシベリヤ抑留兵達を心から讃えたい。やはり日本は一等国だ、武士道、地に落ちず。新聞の書かない事はロータリアンが日本中で声を大にして話せば良いと思います。

お金をかけず、人もあまり動かさず、地味に真に日本をよくする運動だけを5年位やって欲しいと考えます。

一年間、本当に有難うございました。

西三河第一分区

分区代理 有馬 惟夫



月日の過ぎるのは早いもので本年度も後一ヶ月となり、公式の行事も終りほっと致して居るところです。

分区代理訪問は、本年度犬飼ガバナーのご方針であるニューリーダーシッププランに基づいて、西三河第一分区の8クラブを訪問させていただきました。前半の訪問は各クラブのアッセンブリーに出席し、活動の詳細をうかがいました。各クラブ共、本年度会長のリーダーシップによるスムーズな進行に厚くお礼申し上げます。又ご臨席いただいた地区副幹事の皆様には大変なお力ぞえをいただき、ありがとうございました。

ガバナー公式訪問も2クラブ4回にわたり開催され、得難い勉強が出来ました。後半の訪問は、私共のクラブの分区幹事副幹事4名が8クラブの会長幹事様と懇談させていただきました。

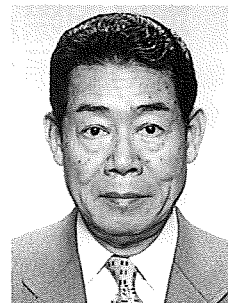
IMの実施に当っては、犬飼ガバナーのご紹介でPHP研究所副社長江口克彦氏による講演会「松下幸之助に学ぶ、人の使い方、活かし方」を開催、そのお話の内容に感銘いたしました。

GSE研究グループの皆様とは二日間、岡崎城夜桜、トヨタ自動車、岡崎石工団地、大樹寺、等々の強行スケジュールでしたが元気に楽しく過ごすことが出来、国際交流に少しはお役にたったかと思いました。

西三河第一分区会長幹事様はじめロータリアンの皆様、そしてホームクラブの会員皆様の協力なバックアップのおかげで無事任期が終わろうとしています。一年間、犬飼ガバナーはじめ役員の方々にご指導いただきました事、本当によい勉強となりました。ありがとうございました。

西三河第二分区

分区代理 杉浦 重行



◎前期・分区代理訪問

'98年9月2日 西尾 9月4日 一色
9月5日 西尾KIRARA
10月27日 刈谷 10月28日 高浜
10月29日 碧南 10月31日 安城
11月12日 知立

◎ガバナー公式訪問 合同例会

'97年9月16日 西尾・一色・西尾KIRARA
11月11日 碧南・高浜
11月26日 刈谷・安城・知立

◎周年記念RC訪問

'97年10月23日 一色RC35周年
'98年2月7日 安城RC40周年
'98年5月10日 西尾RC40周年

◎後期・分区代理訪問

'98年2月2日 刈谷 2月5日 一色
2月6日 西尾KIRARA 2月10日 高浜
2月13日 安城 2月17日 西尾
2月18日 知立 2月25日 碧南

◎西三河第二分区IM開催

'98年3月28日 当日G.S.E.ブラジルチームを歓迎。

◎分区代理会議 各委員長会議 etc皆出席。

以上の様に全日程が無事に終り、ほっとしながら報告書をまとめるに当って、改めて犬飼ガバナーの情熱あふれる励ましのメッセージ「紙のミサイル」に深い感銘を受けて居ります。この一年間を全力投球で奉仕に取り組み、率先垂範をお示しになったご指導に「牛に引かれて善光寺詣り」の故事来歴にあります不信心の老婆の如く、私もいつの間にか、ロータリー精神の在り方に信仰にも似た想いを抱く心境になり、ガバナーのお使番としてお手伝いをさせて戴けたことを誇りに思っています。そして我が生涯に最も充実したメモワールの一頁となりました。

1997～'98年度 活動報告

地区国際友好 (小)委員会

委員長 中野 博三



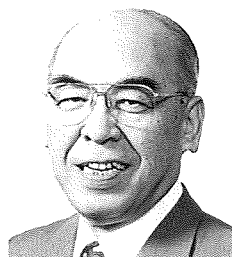
昨年末、台湾第3480地区の方振淵ガバナーと邱秋林地区姉妹クラブ委員長から、当地区内クラブと姉妹クラブ関係を結びたいと願うクラブが11あるから是非協力していただきたいとの書簡を頂いた。

台湾第3480地区内クラブとは、既に名古屋北、あま、西春日井、津島、豊橋南の5クラブが提携していて、ガバナーズ・マンスリーレター98/1/20 No.8で紹介。1998年1月31日現在、当地区内では76クラブ中41クラブが海外54クラブと提携している。

RIが世界社会奉仕、インターアクト・プログラムと共に、重視しているのがRRVF(ロータリー趣味・職業別親睦活動)であるが、PR不足、認識の欠如のせいか「ロータリーで最も人目につかないもの」と云われるレッテルを剥がすことが出来ていない。RRVFプログラムを一層価値あるものにする為にも、如何にして参加者を増やすかが大きな課題であり、会員諸兄の積極的なご参加をお願いする。

地区青少年活動 委員会

委員長 加藤 正男



犬飼ガバナーのご方針「新世代の育成と環境保全」を体し、犬飼ガバナー、高沢パストガバナーのご指導よろしきを得て、地区青少年活動委員・IAC/RAC/Ryla各(小)委員及び地区内全クラブの青少年活動委員長の皆様のご努力により大変内容の濃い活動が実りました。

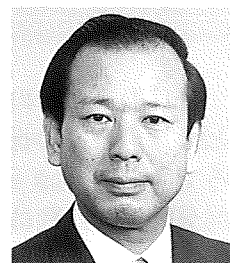
昨年7月と本年4月の2回、地区内の全クラブから青少年活動委員長のご参加を得て合同会議を開催。昨年9月には犬山RCのホストにより新世

代のためのロータリー園遊会が、又本年4月4・5日の両日、豊橋ゴールデンRCをホストとして第6回ライラセミナーがいずれも盛大に実施されました。

更に6月24日にはあまRC提唱による愛知県立美和高等学校インターアクトクラブが誕生。又西尾RCを中心に西尾KIRARARC・一色RCの協力により新しいローターアクトクラブ誕生の気運があることを心よりご同慶に存じます。おめでとうございます。

地区 インターアクト (小)委員会

委員長 坂本 康信



犬飼ガバナーはじめ関係諸氏にご理解とご支援に深甚なる感謝を申し上げます。

さて1997～'98年度地区インターアクト委員会の主な活動は下記の通りです。

- (1) 第8回インターアクト協議会を夏季に津島勤労福祉会館において、津島ロータリークラブ・津島女子高校インターアクトクラブのホストによって開催、554名の参加者を得大成果。
- (2) 国際交流では、第10回海外研修を、オーストラリア・シドニーにおいて実施し、36名の高校生、2名の先生、3名のロータリアンが参加、現地での英会話学習、高校での授業参加・交流、ホームステイ等を図ることができた。
- (3) 第1回地区インターアクトクラブ次期役員研修会を開催し、生徒、顧問、ロータリアン計54名がクラブ運営、役員の責任について学ぶ。
- (4) 第3回地区インターアクト顧問・委員懇談会を開催し、顧問、地区委員、ロータリアン計54名が情報交換及び交流を図った。

地区 ローターアクト (小)委員会

委員長 石川 敬



今年はローターアクトが1968年3月13日米国で

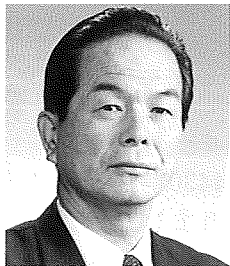
地区委員会活動報告

結成されて満30年を迎えた記念すべき年であります。当地区は翌69年9月19日岡崎RACが創設されました。ローターアクトは夫々のプログラムに従い、ロータリーの良きパートナーとして各地域の社会的ニーズに応え「超我の奉仕」を実践し、友情を広げ、理解を深める努力をして来ました。

今年、当地区ローターアクトは「STEP・BY・STEP」を地区テーマに活動を展開して来ました。国内研修は今年初めて受入研修と訪問研修の双方を体験しました。他地区の地域文化や風俗習慣の違いを知ると共に、人の関わり方を知る機会を得る大きな成果を挙げています。海外研修は米国西部を体験しました。若い世代に、言葉を含め外国の異文化を知るとは人生に大きなインパクトを与える事になると思います。このように当地区RACは奉仕の業績とリーダーシップの育成のすばらしい記録に高い誇りを持つことが出来ます。そしてアクトが持ち寄る多くの才能は、ロータリーが果たす人道的奉仕活動の使命に大きな助けとなるでしょう。

地区ライラ (小)委員会

委員長 石田 喜運



ライラ(小)委員長を仰せつかり、責務を果たすべく、委員会の皆様のご協力により一年間大過なく活動をしてまいりました。

本年度の当委員会の活動は、前年度の委員会の協力を得て、ビデオテープ『ライラセミナーとは』を制作して各クラブに配布、青少年月間に役立てていただき、ライラプログラムに関する理解と参加のためのPRに務めました。

年々充実してきましたライラセミナーの第6回開催をホストクラブの豊橋ゴールデンRCと共に担当し、全クラブからの受講生の参加をめざしセミナーを有意義なものにするために鋭意準備に務めてまいりました。

セミナーのテーマは『新世代と国際交流』とし、ロータリーが提唱するプログラムに参加している留学生に参加して頂きました。分科会の趣旨は『新世代の問題提起と21世紀への提言』で、自由闊達な本音の意見がきかれる国際色豊かなディス

カッションとなりました。受講生からは、大変刺激になり意義あるセミナーとの評価を得て、責務を果たしたという思いで一杯です。皆様のご指導、ご協力に感謝申し上げます、ご報告とさせていただきます。

地区ロータリー 財団委員会

委員長 矢島 茂



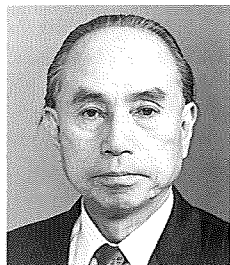
地区協議会、R財団セミナーを主行事とし、新世代のための園遊会、地区大会青少年活動紹介、財団月間の各クラブでの卓話、国際親善奨学生募集から教育指導と派遣・受入れまで多忙な一年でした。特に、国際ロータリーのめざす世界理解と平和友好関係を増進する活動の財源として、ロータリアン各位から寄せられた浄財の有効活用についてPRと現状報告をさせていただきました。

研究グループ交換は、松前GSE委員長のご努力で17年振りに実施することができました。受入れ財団奨学生2名は、ジョン・ポール君が名古屋千種RC、崔銀珠さんが名古屋昭和RCにお世話になりました。また、派遣財団奨学生のスポンサークラブに多大のご支援を得てまいりました。

以上、この一年を通じ犬飼ガバナー、片山地区幹事、分区代理各位のご指導のもとロータリアン各位の絶大なるご支援に対し、心から感謝申し上げます。

地区財団奨学金 (小)委員会

委員長 長谷川 二郎



地区会員の皆様には財団奨学生のことにつきまして多大な御協力をいただき感謝致しております。

1999～2000年度の奨学生選考試験を1998年5月30日愛知学院大学本部で行ないました。応募された方々はいずれもきわめて高い教養と知識の持ち主ですが、今年はとくに優れた人ばかりであり、選考に当たっては各委員が大変に気苦労を

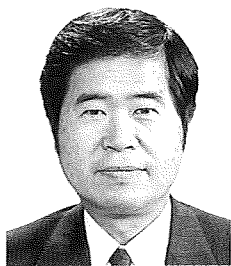
されました。語学力はそれを選考の基準としているだけにすべての人が合格であります、一部書類上不備の方が今後このようなことのないよう委員会として考慮しなければならないと考えます。選考に際しては選考委員が目的、将来への抱負を含め、鋭くかつ幅広い質問を致しました。

ロータリー奨学金委員会としての活動は主として奨学生の募集、選考及び留学に必要な書類の整備であります、奨学生の資格、応募のあり方を始め初歩的なことから、留学手続き、留学地の情報等を含め、より幅広い広報活動が必要であると痛感致しました。より良い奨学生を選ぶためにも各ロータリークラブのロータリー財団委員長、カウンセラーの方々のお力を借りることなくこれらのことはなし得ません。今後共よろしく願い申しあげます。

幸いなことに当地区から選ばれた奨学生はいずれも素晴らしい方々であり、まさに国際親善使節としての役割を十分に果たしていただいております。それぞれのクラブで国際親善を始めとする話題の提供などの機会を与えていただきたくお願い申しあげます。

地区財団学友会 (小)委員会

委員長 梅村 東



昨年の5月31日R財団奨学生選考試験において37名の応募者の中から20名(1学年14名、マルチヤー2年留学6名)の奨学生候補者を選考し早や1年がたちました。残念ながら途中種々の都合により3名の辞退者があり結局'98～'99年度奨学生としては17名を世界各地の大学に派遣することになりました。5月17日に学友会の総会を兼ね新奨学生のための壮行会が行われましたが留学先、手続等も完了し出発を待つばかりの奨学生、最後の調整に忙しい奨学生、未だ留学先が確定せずやや不安げな奨学生、それぞれ状況は異なりますが留学に向けての熱意と期待は少しも変わることがありません。

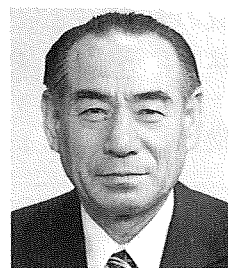
昨年8月2日にガイダンスを実施して以来、地区大会への参加、オリエンテーションを経て壮行会で新奨学生を激励し送り出す頃となりました。選考試験、ガイダンスで奨学生の皆さんにお目に

かかった頃と比べますと皆さんそれぞれの留学準備の体験を通じ更に逞しく立派になられ、ロータリーの親善大使にふさわしい奨学生に成長されております。やがて迎える21世紀～グローバル化、多様化が本格化する中でこれからの日本を担うのは正にこれら奨学生に代表される若い人達です。これらの若い有能な人々をバックアップし世界に貢献する人材育成のためのプログラムがR財団奨学制度です。どうかこの素晴らしいプログラムをロータリアンの皆様にもっともっと理解して頂き、懸案でありました学友会の名簿も出来上がりましたので、現在256名に達した学友会との連携を密にし大いに活用して頂ければと思っております。

この一年間当委員会にお寄せ頂きましたご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

地区研究グループ 交換(小)委員会

委員長 松前 憲典



今年度中に、受入れ、派遣というハードスケジュールを前提に、わが第2760地区、ブラジル第4430地区との研究グループ交換(G.S.E)が実施されました。ブラジルチームは、1998年3月24日より4月23日まで滞在、熱心な研修態度に各地区の分区代理、訪問クラブの皆様には献身的なバックアップで答えていただき、感謝の言葉もありません。4月19日(日)に名鉄グランドホテルで第4430地区のGSEチームの歓送会と第2760地区GSEチームの壮行会を合同で盛大に開催致しました。

当地区からの派遣チーム犬飼芳樹リーダーほか4名は、5月2日出発、第4430地区の用意されたプログラムに沿って元気で研修を終り、6月1日に帰国致しました。今年、日本からのブラジル移民90周年の記念すべき年に、GSEの交換ができ、第4430地区の平和の地区大会に、犬飼ガバナー一行(11名)とGSEチーム(5名)が合流して大会に参加し、大歓迎を受けました。また日伯文化協会、寄贈図書の贈呈式を行い、日本とブラジルの親善と交流が深まりました。豊田リーダーから、感謝の御礼状を受取りました。

地区ポリオプラス (小) 委員会

委員長 酒井 孝



ロータリー創立以来の最大プロジェクト、ポリオ・プラスは西暦2000年発病者ゼロ、2005年撲滅宣言という目標の完遂にむかって最終段階に入っています。

10数年前のアジアのポリオ発生率は全世界の70%を占め、次いでアフリカの17%、然し、インド、パキスタン等を重点地域として、積極的なワクチン投与が行なわれたことによって発生が激減し、今日その発生率もアフリカと逆転しているのではないかと思います。

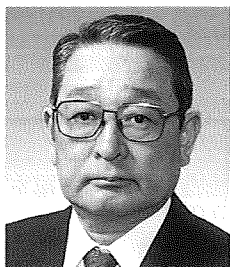
此の間、ロータリー財団の資金面での支援はもとより、特筆すべきは延べ100万人に及ぶロータリアンが今日までポリオ根絶に貢献していることです。

その結果、1981年には60万件を超した発生件数が1996年12月には4万件に減り、非発生国の数も154ヶ国になりました。

21世紀を担う、何万、何十万の子供達の生命や健康を守る為、この活動の意義を正しくご理解の上、更なるご支援をお願いいたします。

地区米山記念 奨学会委員会

委員長 小田 公平



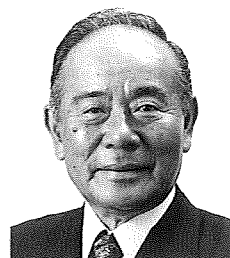
本年度は米山カレンダーにそった事業以外に特別事業として“新世代のためのロータリー園遊会”が9月15日に名鉄犬山ホテルに於て、犬飼ガバナー主催のもとに盛大に開催され、アトラクションとして博物館明治村見学があり、奨学生、学友会のメンバーに多大の感銘を与えました。年度はじめに決定した年間スケジュールはすべて予定通り実施することが出来たのも犬飼ガバナー、田中担当理事をはじめ地区委員会の皆様方、ガバナー事務所の皆様方の暖いご支援ご協力の賜と深く感謝申し上げます。又本年度の地区奨学生は昨年同様

167名の多数の申込者の中から採用されたY奨学生32名、DISY-B奨学生9名、C.Y奨学生3名、計44名の新奨学生と継続奨学生13名を加え総計57名をお世話することになりました。世話クラブ、カウンセラーの皆様には大変お世話になりますが、何卒暖いご支援を心からお願い申し上げます。

末筆になりましたが本年度の寄付金も当初の目標をほぼ達成することが出来ました。厚くお礼申し上げます報告といたします。

地区 米山学友会(小) 委員会

委員長 各務 芳樹



米山奨学生OB間の交流をはかり、国際親善及び世界の平和に寄与することを目的とし、併せて(財)ロータリー米山記念奨学会の事業の発展に寄与することを目的として、本年度はじめて発足いたしました米山奨学生学友会(愛知)の(小)委員会委員長をつとめさせていただきました。

幸いにも副委員長の加藤凱也氏が米山記念奨学会の事に関して精通しておられ、古い名簿などをたよりに正会員56名、準会員(現役米山奨学生及び他地区に在住する元米山奨学生)44名、併せて100名の会員名簿を作成していただきました。現在は会員数がこの年度末で84名になりました。

昨年の6月28日メルパルク名古屋において、地区関係役員及び学友会会員で盛大且つなごやかに発会式と懇親会を開催致しました。会長にはクネヒト・ペトロ氏(南山大学人類学研究所所員、スイス人)が選任されました。

今後は役員会を中心に会合を重ね、新世代の為のロータリー園遊会にも一部出席していただき、また地区大会など地区ロータリー関係の行事にも出席していただくよう指導してゆくつもりです。さらに、会員の消息を調査の上再度勧誘して、会員数の増強をはかっていきたいと思っております。

第6回地区諮問委員会開催

日時 1998年5月22日(金) 11:30~14:00

場所 ホテル豊田キャッスル「芙蓉」の間

<協議事項>

1. 1998~'99年度のための地区協議会について
2. 1998~'99年度 ガバナー補佐について
3. 1998~'99年度 地区役員および会長・幹事懇談会について
4. 地区事務所開設準備の件
5. 地区史「かがやけロータリー愛知RI2760地区史」発刊の件
6. 地区大会・地区協議会ローテーションについて
7. 1997~'98年度 地区役員および会長・幹事慰労会について
8. その他

<報告事項>

1. 規定審議会採択案件の件
2. G.S.E(研究グループ交換)受入れ・派遣の件
3. 1999~2000年度 地区大会ホストクラブ確定の件
4. 1997~'98年度 RI会長賞受賞クラブについて
5. 万博協会と懇談会について
6. 1997~'98年度 ライラ(青少年指導者養成セミナー)開催の件
7. PETS(会長エレクト研修セミナー)開催の件
8. ガバナー賞の新設について
9. 美和高校IAC(提唱:あまRC)認承状伝達式について
10. RAC年次大会開催の件
11. 環境保全シンポジウム開催の件
12. 会員増強実績一覧表(1997.7~1998.5/15)
13. ロータリー財団寄付金実績一覧表(1997.7~1998.4)
14. 米山記念奨学会寄付金納入明細表(1997.7~

1998.3)

15. 第89回 国際大会(米国 インディアナポリス)参加人数について
16. 地区主要行事日程について(5月~6月)
17. その他

ロータリーレート変更のお知らせ

1ドル=140円
(1998年7月1日~)

国際ロータリー日本サービスセンター財務室

新 ポール・ハリス・フェロー

氏 名 所属R.C.

氏 名 所属R.C.

● 4 月分

遠島 敏行(名古屋守山)
樋口 武人(名古屋守山)
後藤 正憲(名古屋南)
林 和夫(岡 崎)
関口三千彦(豊 橋 南)
渡辺 均(あ ま)
横田 晴伍(名古屋名北)
鹿野 光男(名古屋名北)

丹羽 太一(名古屋名東)
片山 進(尾張中央)
服部信一郎(尾張中央)
豊田 昌幸(尾張中央)

● 5 月分

野尻 鈴彦(田 原)
中内田広志(田 原)
澤田 明慶(刈 谷)
松井 成徳(岡 崎 南)

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



渡邊 脩 様 (名古屋R.C.) 5月21日

..... お詫びと訂正

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998.4.20/ No.11

●20ページ:同好会紹介/一宮北ロータリークラブ「美術同好会」の執筆者のお名前が間違っていました。

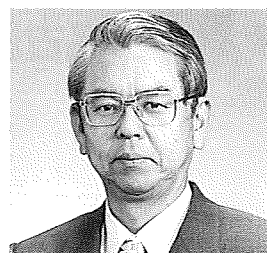
石川金男→佐藤総一郎

お詫びして訂正致します。

.....

「クラブ計画書を読んで」V

地区幹事
片山 主水



5 (2) 総会と理事会の権限について一続き

総会と理事会の権限の配分問題について、話が続いていますが、RIが、なぜ総会の権限を、役員と理事の選出、クラブ定款中クラブ名称およびテリトリーの改正、理事会の決定に対する会員からの提訴に対する裁定（実際に聞いたことはありません）などの最少限の権限に極限し、理事会の権限を広範囲にするという一面非民主的とも言える管理方法を採用しているのか、そこにどんな理由が隠されているか判然としません。少なくとも自明ではありません。

組織・機関の権限配分はその団体の規模、目的などのほかにその団体構成員の質に関係するところが多い訳ですが、ロータリーの奉仕の目的、ロータリアンの高度な質に、定款の権限配分は最適であり、ロータリークラブの生存と増強に最適であるということでしょうか。

事実、この権限配分により、理事会が、ひいては会長が、総会によるまた会員による過度の掣肘を受けることなく毎年強力なリーダーシップを発揮できる仕組みになっていることは事実ですし、このことによりこれまで100年近くにわたりロータリーが絶えず新鮮味を失わず発展してきた一つの理由だと言われています。（他の一つの理由は任期の単年度制です）。

しかし、多くのクラブでは予算・決算、またいくつかのクラブでは事業計画・事業報告の承認、委員長・委員の選任の承認（選任自体ではなく）などは総会にかけ承認事項としているようです。

細則に規定しなくても総会に積極的に提出し会員の承認を得ておくことは、単に報告で済ますより上策のように思います（総会の承認を得られなかったときのことや修正させられたときのこともあらかじめ考えておかなければなりません）。

予算・決算は、入会金や会費の額（これらは総会の決議事項です）のほかに、会員の経済的な負

担に直結することが多いですから、仕組みとしてクラブの総意で総会の承認事項にしようというのでしたら、細則を改正してそのことを規定しておくとい良いでしょう。

(3) 役員会

クラブによっては、理事会（少なくとも役員と理事とによって構成されるが、細則により直前会長、副幹事等もメンバーとすることができる）のほかに、会長・副会長・幹事・会計・SAAの役員だけで役員会を設けているクラブがありました。

これは「内閣」「閣議」に当たる訳でしょうか、理事会に提出するための議題の事前整理、理事会から委任された事項の細目の決定等のための、会長の相談機能的なもので特別の権限がある訳ではありませんから、別に定款上問題はないと思われます。

理事会と役員会の使い分けにより非常に効率的であると聞きました。

（なお、兼任制の当時は、現在の理事会を「理事役員会」と言っていたクラブが多くありました。）

6 特別の組織・委員会など

ちょうど地区にパストガバナーによって構成される諮問委員会があると同じように、多くのクラブに歴代会長による諮問委員会またはこれに類する組織がありました。

単年任期の会長以下で決するには問題が大き過ぎる、例えば女性会員の入会・新クラブの新設・海外クラブ姉妹提携・ローターアクトクラブの結成等々影響が長く尾をひく問題について、慎重審議の一つの筋道として、また何事にも「自分達は口を出してはいかん」と自制しておられるパスト会長にも発言を求め以前のように関心を持ってもらう意味からも、或いはパスト会長でも一平会員に戻るのが本則であるとしてもその処遇の一方法としての意味からも、諮問委員会・歴代会長会などを設けるのも非常にいいと思いました。

名古屋錦ロータリークラブ

会長 長谷川 正孝

我がクラブ錦ロータリー

●満二歳となりました。

名古屋錦ロータリークラブは、名古屋名北ロータリークラブの子クラブとして、特別代表吉村卯一郎君(現名誉会員)のもとキーマンメンバー8名、チャーターメンバー53名で1996年4月16日創立され、認証状伝達式が同年6月18日名古屋ガーデンパレスにおいて開催された。設立年度及び1996～97年度は梶川重久会長のもとクラブテーマ「和・手に手・心と心」に沿いクラブの会員の親睦、出席を主要目的に運営され、少しずつロータリークラブの一員であるという意識が会員の間に生まれてきたようである。

●若さと女性パワー

名古屋錦クラブは創立間もないこともあり、平均年齢が51.05歳(1997年7月1日現在)と年齢構成が非常に若く、会員にはフットワークよく何事にも積極的に取り組む意欲・行動力がある。また女性会員は発足時10名、現在は12名で17.6%を占め女性会員の比率では地区第一のクラブではないかと自負している。女性会員の存在はクラブの雰囲気や和やかになるとともに、男性とは異なった視点から奉仕活動を考える活力源ともなり、女性パワーの発揮を目標に1999～2000年度には増田涼子君の会長就任が決まっている。

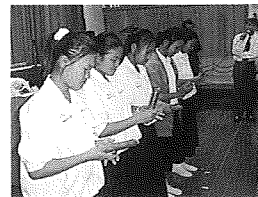
●遊戯を満喫

1997～98年度は長谷川正孝会長の「生活と職場とロータリーを遊戯しよう」というクラブテーマのもと、会員増強に努め75名のクラブを目指すとともに、全員が準ポールハリスフェローとなる、RI会長賞にチャレンジするなど活発な活動を行ってきた。当初は会員に出席の観念があまりなく出席率が100%の例会はまれであったが、「ロータリーはまず出席」のかけ声のもと努力の結果、最近数ヶ月100%を継続できるようになってきたことは本年度の大きな成果である。

本年度は国際奉仕にも本格的に取り組むこととなりWCSには6名の会員が参加しタイを訪問した。タイでは高校におけるエイズ教育の様子を見学したが、受講する女子生徒の姿の真剣さを目の当たりにし、改めてエイズ汚染の深刻さを認識するとともにぜひクラブに帰ってこの実態を会員に報告したいということとなり、帰朝後の例会にお



タイを訪問



タイの高校でエイズ教育を見学

いて詳細にWCS参加報告を行い、会員の耳目を集めた。

●救急バイクを発案・寄贈

当クラブ発足の前年神戸の震災が起こり社会に非常な衝撃を与えたが、災害時の救急活動に車両が全く用をなさずバイクの機動性に注目が集まったのはご承知の通りである。96～97年度社会奉仕委員長林守雄君の発案でバイクを救急車両として寄贈する計画が立てられ、前例がないという関係当局へ度重なる折衝の上承認をうけ、名古屋市医師会に寄贈の運びとなった。97～98年度も2台目を寄贈し、昨年東山で起こったガス爆発事故ではいち早く現場に駆けつけた救急バイクが活躍し社会の注目を集めた。

●名古屋錦ロータリークラブ

創立年月日	1996年4月16日
RI加盟承認年月日	1996年4月23日
認証状伝達式	1996年6月18日
チャーターメンバー	53名
特別代表	吉村卯一郎氏
スポンサークラブ	名古屋名北ロータリークラブ
事務所	名古屋市中区錦ニシベビル
例会場	名古屋ガーデンパレス
例会日	火曜日
テリトリー	名古屋市区・東区



名古屋市医師会へ救急バイクを寄贈

同好会紹介

名古屋名駅ロータリークラブ ワイン会

代表 安藤 隆利

最近、世の中、ワインがちょっとしたブームになっているようです。

若い女性達の間では、洒落れた雰囲気の中ワインでイタリア料理（何故か人はこれをイタメシと呼ぶ）やフランス料理を楽しむ……テレビ等でもソムリエが登場し、ワインや料理をテーマとした番組が増えているようですし、著名なワインの頒布会も可成り盛んなようです。又驚いたことに、嘘か真か、赤ワインが動脈硬化の予防に効果があるとかで、その錠剤までが市販されているようです。ワインの消費が多いフランス・イタリア・ドイツ等では、本当に動脈硬化患者は少ないのでしょうか？いくら赤ワインが動脈硬化防止に良いといっても、本当にその効果が表れるまで飲み続けたら、その前に肝硬変になってしまうような気がしてなりません。

そんな昨今ですが、我が名古屋名駅RCワイン会は、当クラブが発足して間もなくの1994年3月に正式承認され、以来5年間、2ヶ月に一度の割で定例会を開催しており、次回6月10日にて第29回を数える程になりました。

この間、ワインと共に楽しむ料理とはといえば、皆様が通常お考えになるような、ナイフ・フォークを使用する料理はいわずもがな、和食あり、中華あり、果ては鰻やみそおでん等にまで巾を広げ、ワインとの相性は云々等と色々蘊蓄を傾けております。定例会は通常8～10名を限度とし、毎回6～8本の異なったワインを飲み比べておりますが、これはこの程度の人数が皆で一つの話題について和気藹々と会話を楽しむのに最適であるという事と、1本のボトルで各自1グラスずつ数種類ものワインを味わえるという理由によるものです。

いくら絶世の美女と二人豪華な食事をとっても、一種類のワインを味わうのが精々でしょうから、一回の食事でも6～8種類ものワインを楽しむというのは可成り魅力的だと思います。

又毎回楽しむ6～8種のワインにしても、会毎にテーマを設け、今回はボルドー特集とか、カリフォルニアシリーズだとか、あるいは葡萄の品種による飲み比べ等、一応勉強らしき事も兼ねて開催しております。

会を重ねるうち、会員も段々個々のワインの持



つ、辛味、酸味、甘味、渋味等のバランスが解るようになり、ブランドとか値段に左右されない本当の「通」になっていくようです。結構自己満足だけかも知れませんが。

又この会、ワイン・料理を楽しむ事は勿論ですが、会話も重要な主題となっています。南北の気候の違いが葡萄の育成にどのように影響するか、内陸と川添いでは同じ品種でも味に変化はあるのか、シーザーがエジプトであげた乾盃はワインだったのかビールだったのか、英仏戦争の影響でスペインでのワイン醸造が盛んになったのでは等々ワインに関する話題で会は一層盛り上がります。つまりワインを肴にして、その生まれた風土、歴史、果ては文化芸術にまで話が及ぶのですから勉強にならない訳がありません。

以上のように当ワイン会は、味覚を高め、教養を高め、更には血糖をも高める、非常に有意義な会であると自認いたしております。

ただ悩みの種はといえば、ワインが持ち込みとなるため、会を開催させていただけるお店が少ないことです。皆様方のうち、こんな料理でワイン持ち込みOKというようなお店がありましたら、是非御紹介下さい。又我々もこんなワインの会をやっているよというようなロータリアンがいらっしゃいましたら、一度合同での会を企画するのもよろしいのではないのでしょうか。



豊川宝飯ロータリークラブ コーラス部『RCマダムス&ダンディーズ』

幹事 山城 康司

本日は、我クラブの愛されるコーラス部、「RCダンディーズ」を紹介します。1993年度クリスマス家族会に、親睦委員メンバーで何か出し物をやろうという話になりまして、会場が豊橋ホリディンホテル最上階ホール、夕陽を見ながらちょっとおシャレにという事で、クリスマスソングをコーラスで決めようと、8名にてスタートしました。

メンバーのカラオケルームを借りて3～4回練習、3曲位出来まして、当日130名の家族会、我々は全員紺のダブルスーツに、赤の蝶ネクタイでビシッと決めて、ピアノ・ハープ演奏をバックにスタート、ムムム、ところが、宴が始まって30分位たったので、メンバーの約3～5名がお酒を飲み過ぎ音程が上がったり下がったり、合唱になっていない。まあいいかと終了して、反省会を開き、このままではいかん、との事、さすが我がメンバーですね。

と言う事で、次の出番は、年が明けて4月、当クラブホストでのIM、豊川自衛隊の食堂で懇親会のラストにとの事、一同よっしゃと、まず指揮者兼ボイストレーナーを探そうと言う事になりまして、豊川第九を歌う会のボイストレーナーをやってらっしゃる豆腐屋の鈴木隆行先生にお願いしようとお伺いしたところ二つ返事でOK、ピアノの先生も最初演奏して頂いた市川智子先生にお願いし、2ヶ月程猛レッスン、曲目は、ドリフターズの「いい湯だな」、ダークダックスから「銀色の道」「琵琶湖周航の歌」、当日メンバーには、断酒を厳命、IM行事が進み自衛隊の食堂にて夕方5時より懇親会が始まる。他の方々から歌、踊りが始まる、そして我々の出番、前回と同じ様に赤の蝶タイをビシッと決め、しかし各クラブよりの約300名のご参加の方々には酒が回って盛り上がり、舞台を向いてくれない、ままとスタート、第1曲目、ドリフのいい湯だねババンババンバン、と景気よい音頭、少しだけこっちを向いてくれた。2曲目、3曲目の、「琵琶湖周航の歌」の始まる頃には、離れていた皆様が、舞台のかぶり付に陣取り大拍手、アンコールの大合唱となったのであります。

調子に乗った我々は、文化協会の新年宴会、い



ろいろな会の依頼に、年に2～3回位出演して参りました、ところがメンバーの中に、それぞれ、青年部の会長になったり、仕事が忙しい等、毎週PM8:00～9:30のレッスンに出てこれられない状況が出てきて、これはまずい、メンバーの奥様をどうだという事になり、1995年クリスマス家族会からメンバーの奥様3名を迎えて、女性3名、男性4名、ピアノ2名、指揮者1名で、その名も「RCマダムス&ダンディーズ」という構成になり現在に至っています。

先月5月23日、メンバーのご長男の結婚式の時には、蒲郡プリンスホテル大宴会場にて、160名のお客様、曲目は「乾杯」ミュージカル、マイフェアレディより、「踊り明かそう」をコーラス、大感動、大拍手を頂き、お客様の中には、歌を聞いて、鳥肌が、ビビビーと立ったといわせた程でした。

今後も健康の為、夫婦和合の為、お呼びがあれば歌い続けていこうと、一同盛り上っているのであります。

「RCマダムス&ダンディーズ」フレー フレー。



インディ国際大会



ガバナー 犬飼 栄輝

シカゴから東南へ約300km、インディアナポリスは、昔は文字どおりインディアンの村でした。

アイオワ、イリノイ、インディアナ、オハイオ、ペンシルバニアと広がる緑の沃野の中心にあり、ヨーロッパからの開拓農民が原生林をきり拓いた思い出も、まだ百数十年昔のことです。

ここは南北戦争(1861~65)の激戦地、そして今では人口75万人、自動車ファンなら誰でも知っている「インディ500」レースの街です。

6月14日から17日まで、このインディアナポリスでロータリー国際大会が開催されました。

参加者は世界中から約18,000人、うち日本人は約1,400人、わが2760地区からは168人でした。

開会式は有名なRCAドーム球技場で行われましたが、直前から激しい雷雨となり、大変でした。

しかし開会式のスペクタクルは非常に華やかで、百数十カ国におよぶ国旗の入場式には、深い感動を覚えました。

キンロス会長は「世界中のロータリアンがあらゆる機会にロータリーの“心”を発揮されたことに深く敬意を表し、私たちがなし遂げた成果を祝うと共に、ロータリーの理想と原則を更に強化して下さい」と挨拶されました。

翌6月15日には第2回本会議のあと、ロータリーの飢餓・貧困との戦い、識字・計算能力向上運動、ポリオプラスや子供の福祉向上などテーマ別のフォーラムが開かれました。

またこの日は早朝7時半から、ハイヤットホテルで日本人朝食会が開催され、約500人が参加、キンロス会長も出席されました。

更に今回初めての試みとして、日本語やスペイン語によるフォーラムも開かれました。日本語部

門ではRI理事竹山涼一氏、小谷隆一氏を中心に、ちょうど2時間にわたり、パネルディスカッションが行われました。

時代の変化と共に、国際ロータリーもいろいろな課題をかかえ、大きな転換期を迎えているようです。具体的には

- 会員の減少傾向
 - 例会出席率の低下
 - RI財団などの活動基金の低迷
- などが指摘されていました。

わが日本は、全体としては優等生であると思いますが、ロータリーをより魅力ある組織とするための「土台づくり」と、会員1人ひとりの主体的な「参加意識」が、大きな鍵を握っているのではないのでしょうか。

北は五大湖、西はロッキー、そして南はメキシコ湾まで、山一つないアメリカ中部大平原には、人の心を広げる不思議な力があるようです。

円の急落も、W杯の試合も何か遠い国のでき事のように、当地の新聞にはほとんど出ていません。

同じアメリカでも、ニューヨークやシカゴのようなビリビリした大都会とは大きな違いです。

世界中からのお客様を、明るいスマイルと、素朴ではあるが心のこもったサービスで迎える地元ヴォランティアの活動ぶり。本当のアメリカの姿を見る思いでした。

最後をお願いを一つ。キンロス会長が出られた日本人朝食会で、会長がこう問いかけました。

「このなかで今のガバナーさんは？」

緑のベストが30人以上、手をあげました。

「次期のガバナーさんは？」

紺のベストがやはり30人以上返事をしました。

「それでは今のRC会長さんは？」

それがガバナーの数より少ない程でした。

「次のRC会長さんは？」

立たれた方はもっと少なく、ちらほらでした。

キンロス会長は何も言わず、ニコニコしておられました。

日本には2,247のRCがあります。来年のシンガポール国際大会には、各クラブの会長さん、会長エレクトさんはぜひお揃いでお出かけ下さい。

参加することに意義があるだけでなく、目に見えぬ大きなものを必ず身につけて帰ることができます。世界中のロータリアンが集まるたった一度のこのチャンスを、逃がすことはないと思います。

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	半田	100	5	68	72	4
	常滑	98.60	4	71	74	3
	東海	98.92	3	59	62	3
	東知多	94.23	4	67	72	5
	半田南	98.51	4	69	72	3
	知多	98.87	4	49	46	-3
	6RC	98.19		383	398	15
名古屋第一分区	名古屋	97.22	4	221	232	11
	名古屋西	97.37	4	142	153	11
	名古屋南	99.17	4	127	133	6
	名古屋港	100	4	128	129	1
	名古屋東南	98.74	4	89	94	5
	名古屋中	99.38	4	162	168	6
	名古屋瑞穂	100	5	102	102	
	名古屋大須	98.46	4	101	101	
	名古屋栄	99.21	3	80	84	4
	名古屋名駅	95.52	4	102	112	10
	名古屋名南	90.24	4	89	87	-2
	名古屋西南	100	4	54	59	5
	12RC	97.94		1,397	1,454	57
名古屋第二分区	名古屋北	99.51	4	112	111	-1
	名古屋東	96.68	5	114	112	-2
	名古屋守山	97.92	4	86	84	-2
	名古屋和合	100	4	108	115	7
	名古屋名東	98.80	4	83	83	
	名古屋名北	100	4	71	76	5
	名古屋千種	97.80	4	65	71	6
	名古屋昭和	99.17	5	69	75	6
	名古屋錦	98.86	4	64	67	3
	名古屋東山	97.27	4	54	57	3
	10RC	98.60		826	851	25
東尾張分区	瀬戸	100	4	82	87	5
	犬山	100	4	83	87	4
	江南	98.84	5	73	77	4
	小牧	98.54	4	72	76	4
	春日井	100	4	81	81	
	尾張旭	98.51	4	66	67	1
	名古屋空港	97.45	4	68	70	2
	瀬戸北	98.87	4	69	71	2
	岩倉	98.17	4	41	41	
	豊山一城北	96.09	4	57	57	
	10RC	98.72		692	714	22

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
西尾張分区	一宮	99.19	4	92	96	4
	津島	100	4	87	90	3
	尾西	100	4	61	64	3
	一宮北	98.15	4	84	83	-1
	稲沢	93.90	4	65	72	7
	あま	99.03	4	104	103	-1
	西春日井	100	4	64	67	3
	尾張中央	100	4	50	54	4
	一宮中央	97.64	4	75	74	-1
	9RC	98.66		682	703	21
東三河分区	豊橋	98.91	4	133	134	1
	蒲郡	94.91	4	76	76	
	豊橋北	99.76	4	112	113	1
	豊川	98.11	4	80	80	
	田原	100	4	72	70	-2
	豊橋南	98.44	4	73	72	-1
	新城	98.21	4	68	66	-2
	渥美	93.24	4	65	66	1
	奥三河	94.85	4	39	42	3
	豊川宝飯	95.24	4	67	66	-1
	豊橋ゴールドン	99.37	4	83	82	-1
	田原パシフィック	96.71	4	76	76	
	豊橋東	100	4	37	42	5
	13RC	97.52		981	985	4
西三河第一分区	岡崎	100	4	121	123	2
	豊田	99.48	5	93	97	4
	岡崎南	99.51	4	115	114	-1
	豊田西	98.47	4	97	104	7
	岡崎東	98	4	93	101	8
	豊田東	97.67	4	97	99	2
	岡崎城南	100	4	77	80	3
	豊田三好	99.29	4	35	37	2
	8RC	99.10		728	755	27
西三河第二分区	刈谷	100	4	85	95	10
	安城	97.80	4	91	94	3
	西尾	97.41	4	76	77	1
	碧南	99.38	4	80	82	2
	一色	100	5	51	50	-1
	高浜	98.15	4	55	56	1
	知立	100	4	57	63	6
	西尾KIRARA	99.66	4	72	73	1
	8RC	99.05		567	590	23

地域内クラブ数 76RC

'97.7.1会員数 6,256名

増加会員数 216名

当月末会員数 6,450名

減少会員数 22名

当月平均出席率 98.47%

差引純増会員数 194名